

令和4（2022）年度

東京大学大学院工学系研究科  
原子力専攻専門職学位課程  
（専門職大学院）

大学院入試案内書

[問い合わせ先]

〒319-1188 茨城県那珂郡東海村白方白根 2-22

東京大学大学院工学系研究科原子力専攻事務室

TEL: 029-287-8403

FAX: 029-287-8488

E-Mail: nyushijimu@tokai.t.u-tokyo.ac.jp

<http://www.tokai.t.u-tokyo.ac.jp/Npro/>

今後、新型コロナウイルス感染症等の影響により、募集要項の内容（試験日時及び場所、試験科目、専攻事務室の対応、等）について変更となる可能性があります。変更する場合は、本研究科 Web サイト及び原子力専攻 Web サイトで公表しますので、随時確認して下さい

([http://www.t.u-tokyo.ac.jp/soe/admission/general\\_guideline.html](http://www.t.u-tokyo.ac.jp/soe/admission/general_guideline.html))

(<http://www.tokai.t.u-tokyo.ac.jp/Npro/admission/>)

この入試案内書は、東京大学大学院工学系研究科原子力専攻（専門職大学院）学生募集要項

([https://www.t.u-tokyo.ac.jp/soe/admission/general\\_guideline.html](https://www.t.u-tokyo.ac.jp/soe/admission/general_guideline.html))

を補足し、受験に必要な情報を記載しています。

本専攻のカリキュラム（講義科目、演習科目、実験・実習科目、実験・実習設備等）については、「原子力専攻（専門職大学院）専攻案内」または本専攻のホームページをご参照下さい。

(<http://www.tokai.t.u-tokyo.ac.jp/Npro/>)

本専攻では広く人材を募集しています。皆さんのチャレンジを楽しみに待っています。

本専攻の入学試験や教育内容に関する質問等は、表紙の問い合わせ先にご連絡下さい。

## 1. 原子力専攻専門職学位課程（専門職大学院）とは

東京大学 大学院工学系研究科 原子力専攻専門職学位課程（専門職大学院）は、高度な専門性が求められる原子力施設の安全運転及び維持管理、その監督指導を行うための深い学識及び卓越した能力を培い、原子力産業界や安全規制行政で指導的役割を果たす高度専門技術者の養成を目的とする専門職大学院です。本専攻は、社会人経験として2年以上の実務経験を有する方を入学者の主な対象としますが、実務経験が2年に満たない方や令和4（2022）年3月31日までに大学を卒業見込みの方も受け入れます。標準修業年限は1年です。本専攻を東京大学大学院工学系研究科が定める所定の成績以上で修了すると、原子力修士（専門職）の学位が授与されます。

本専攻が指定する講義、演習、実習等において所定の成績以上を修めると、国家資格である原子炉主任技術者の筆記試験において法令以外の科目の受験免除資格、及び筆記試験合格者且つ6ヶ月以上の実務経験を有する者に対する口答試験の受験資格を取得できます。また、同じく国家資格である核燃料取扱主任者の試験においても法令以外の科目の受験免除資格を取得できます。これらの国家資格は、原子力発電所、燃料製造工場、使用済み燃料再処理工場、廃棄物処理処分施設など、原子力エネルギーの開発と利用において中核となる施設を建設、運転する企業等に対して必須のものとして国が求める資格で、電力会社や原子燃料サイクル関連企業、その他原子力関連産業や原子力関係の研究機関等で最も重要視される資格の一つです。このため、電力会社等、原子力関係機関に在職の方にとってはキャリアアップにつながります。大学卒業見込みの学生で原子力関係業界への就職を希望している方にとっては、就活の自己アピールにもなるでしょう。

また、原子力関係の国家資格には放射線取扱主任者もあります。この資格は、原子力関係の産業界だけでなく、医療・医薬関係業界や食品業等の製造業において放射線を取り扱う多くの施設に求められているものです。本専攻は本国家資格の取得を推奨しており十分に対応できる知識と経験を学ぶことができます。尚、本国家資格試験における科目免除はありません。

## 2. 試験科目及び試験日程

### 2-1. 試験科目

当専攻の入学受け入れ方針に則り、大学理工系学部卒業相当の学力を問うため以下の科目について試験を実施します。

#### (1) 筆記試験

- ① 英語（英文和訳、語法、文法等）
- ② 数学（微分方程式、線形代数、確率・統計等）
- ③ 小論文

#### (2) 口述試験

口頭試問により、原子力を含む幅広い理工学、社会科学等の知識、興味、意欲、及び入学後の学習計画等を問います。

### 2-2. 試験日程

試験日程（予定）を下表に示します。試験日程、時間帯、場所に変更がある場合は、事前に本専攻ホームページに掲載します。

新型コロナウイルス感染等の影響によりオンライン試験とする可能性があります。12月初旬を目途に判断する予定です。詳細は本専攻ホームページに掲載しますので随時確認して下さい。オンライン試験の実施要領や必要機器等についても本専攻ホームページに掲載します。

(<http://www.tokai.t.u-tokyo.ac.jp/Npro/admission/>)

試験科目	日時（予定）		試験場所	必需品等
	令和4（2022）年			
オンライン試験 の場合の接続テ スト	1月17日（月）～1月20日（木） のうち1～2日		各自のオンライン受 験場所から接続して 下さい。	試験環境のチェッ ク等を実施しま す。必需品は別途 指定します。
筆 記 試 験	英語	1月21日（金）9:00～10:30 ※試験開始30分前に集合の予定	受験票発行時に通 知、及び本専攻ホー ムページに掲載しま す。	筆記用具 受験票 オンライン試験の 場合は専攻が指定 した機器等
	小論文	1月21日（金）11:00～12:30		
	数学	1月21日（金）14:00～17:30		
口述試験	1月22日（土）		試験期間中に周知し ます。	受験票

### 2-3. 入試標準問題

筆記試験科目の標準問題は、入試説明会以降、問い合わせ先から入手できます。

### 3. 出願にあたり原子力専攻（専門職大学院）に提出する追加書類

「募集要項に記載された提出書類」に加えて、提出する書類は次のとおりです。

電子データをオンライン上の指定の場所にアップロードするとともに、「募集要項に記載された提出書類」に同封して提出下さい。

書類	形式	対象者
在職していることを証明し、かつ当該機関における業務経験を示す書類	在職機関が発行したものであること。 A4 用紙を使用すること。様式自由。	在職中の者
経歴書	出願者本人が作成したもの。 大学入学以降の経歴（職歴と学歴）を記載 職歴については業務の内容についても簡単に記述すること。 A4 用紙を使用すること。様式自由。	全員

### 4. その他

入試に関する不明な点については本案内表紙に記載した問合せ先に問い合わせして下さい。

以上